



カメラコンサルタントのために 診断のステップ

- 1 外観を見て下さい。どこかに打ち疵のあるものはメーターの故障か疑って下さい。メーターが故障するとシャッターが切れず、次に巻上げも出来ません
- 2 メーターが故障していないときは、ASA 100にし、キャップを外して10W(ワット)位の蛍光灯に近づけ、リリース釘を押して下さい。絞りハネが途中で止まります。全開するときには故障です
- 3 蛍光灯に近づけてシャッターを切して下さい。今度はASAを変へてから蛍光灯に近づけてシャッターを切して下さい。絞り口径が変わらないものは、メーターの故障又は絞り機構の故障です。
- 4 巻上げて見て下さい。巻上げノブは止まるまでまわして下さい。途中でノブを離しても戻らずに、そのままの位置にいますか。もし戻るようなら逆止機構の故障です。従ってシャッターがセットされません。
- 5 レンズにキャップをかぶせたまま、AUTO又はASAではシャッターが切れません。赤マークがファインダーに出ます。赤マークが出ないでシャッターが切れるものは、シャッターのAUTO切換機構の故障です
- 6 レンズにキャップをかぶせたままMANUAL(シボリリングの黄色の字)ではシャッターが切れ、赤マークは出ません。シャッターが切れずに赤マークが出る時は、リリース機構・マニュアル機構の故障です。
- 7 フィルム駒数計は、巻上げたときペンEE、ペンEEN、ペンEESは0と40が前後にいなければいけません。フィルム駒数計が途中のものは巻上げが完了していないから、無理に巻上ノブをまわさないで下さい。巻上機構の故障です。
- 8 シンクロプラグの(+)極と(-)極がショートしていませんか
- 9 キャップをかぶせずにケースに入れしないで下さい。メーターの寿命が短くなります。かぶせるとレンズのくもり防止にも役立ちます